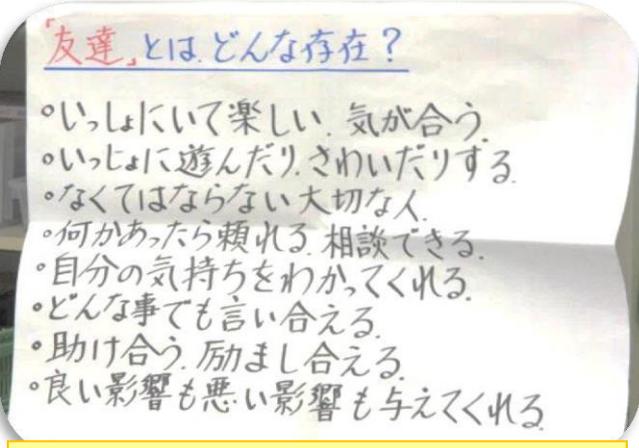
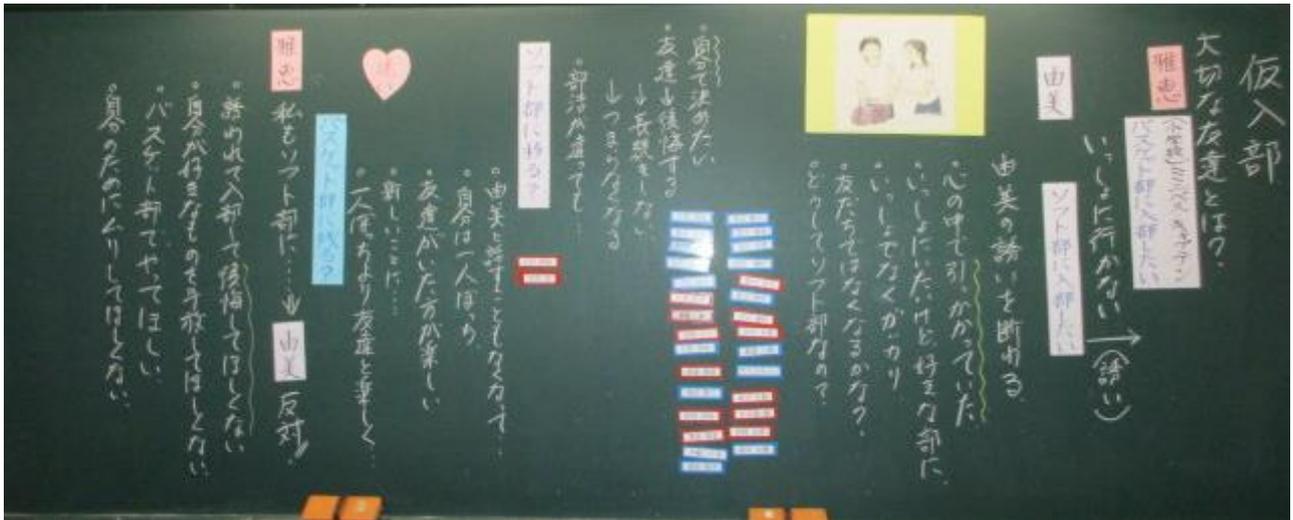


幸手市立幸手中学校

中学校A部会

主題名 励まし合い、高め合う友情【内容項目 B 友情、信頼】

資料名 「仮入部」(彩の国の道徳「自分を見つめて」)



アンケートを生かすねらいへの方向付け



主体的に考える発問の工夫



ネームプレートを生かす発問



本時を通して学んだことの振り返り

1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

【私の授業の観てほしいポイント】

- ①導入について（アンケートの活用）
- ②発問について（主体的に考えさせる工夫）
- ③多様な意見の引き出し方について

【授業についての感想等】

- 生徒たちには日頃の友人関係を見直す機会としてほしかった。一緒にいられるだけでなく、大切だと思えるような方向にもっていったかった。
- ネームプレートの反応は予想外だった。主人公の一人ぼっちの心情をもっと押さえたほうがよかった。



2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①のポイントについて】

- アンケートは簡潔でよかった。貼りだしてあったのも効果的だった。黒板以外に掲示するのもよかった。
- アンケートを受けて、「どんな時に友達がいてよかったか」を話し合う時間があったのもよかった。

【②のポイントについて】

- 発問が分かりやすく、補助発問も適切で考えを深めることができていた。
- 主体的に考えさせるためには、話し合いなど他にも方法があったのではないか。
- 先生から生徒だけでなく、生徒から生徒へと問う場面もあるとよい。

【③のポイントについて】

- ネームプレートは発言が苦手な生徒も参加できる喜びがもてる点がよい。
- ネームプレートの場面は、個人の考えを深めさせてから取り入れたほうがよかった。
- ワークシート等を使い振り返りの時間があるとよかった。



3 指導講評

- アンケートはすべての生徒に見やすく書かれている。
- 生徒は「友達は大切」ということを分かっている。この授業を通して、その価値の理解の変容を捉えられるようにするために、ねらいを明確にすることが大切である。
- 部活のことを第一に考える生徒は多いことから、実体験からの想起をさせるような発問があってもよかった。
- ベテランの先生ならではの生徒を揺さぶる発問が多く、深く考えさせようとする工夫が見られた。
- 一人一人が自分の考えを表明できるという点でネームプレートは効果的。貼る位置なども工夫ができるとよい。
- 書く活動を評価に結び付けることが大切。評価のためにも記録として残していけるものにする必要がある。「最初は～だったが、授業を通して…」というように変容を捉えることも大切。

